

今夏の需要状況について

平成26年10月29日
関西電力株式会社

電力量と平均気温

電力量については、関西電力全域がH22年度比▲16.5%であるのに対して、奈良支店管内はH22年度比▲19.8%と、大きな削減が見られました。

7月1日～9月30日までの平均気温の平均値については、関西電力全域ではH22年度比-1.7℃、奈良支店管内においてはH22年度比-1.6℃とH22年度よりも低く推移しております。

節電期間中の電力量と平均気温

■ 電力量 (7/1～9/30) (百万kWh)

	H22年度	H26年度	増減値	増減率
奈良支店管内	2,349	1,884	▲466	▲19.8%
関西電力全域	45,581	38,078	▲7,503	▲16.5%

■ 最高気温の平均値 (7/1～9/30) (℃)

	H22年度	H26年度	増減値
奈良支店管内	32.0	30.4	▲1.6
関西電力全域	32.6	30.9	▲1.7

最大電力と発生日の気温

最大電力については、関西電力全域がH22年度比▲13.8%であるのに対して、奈良支店管内はH22年度比▲14.8%と、大きな削減が見られました。

H26年度の最大電力発生日の最高気温については、関西電力全域と奈良支店管内において、H22年度よりも高く推移しております。

最大電力と最大電力発生日の気温

■ 最大電力 (7/1～9/30) (万kW)

	H22.8.19	H26.7.25	増減値	増減率
奈良支店管内	168	143	▲25	▲14.8%

	H22.8.19	H26.7.25	増減値	増減率
関西電力全域	3,095	2,667	▲428	▲13.8%

■ 最大電力発生日の最高気温 (℃)

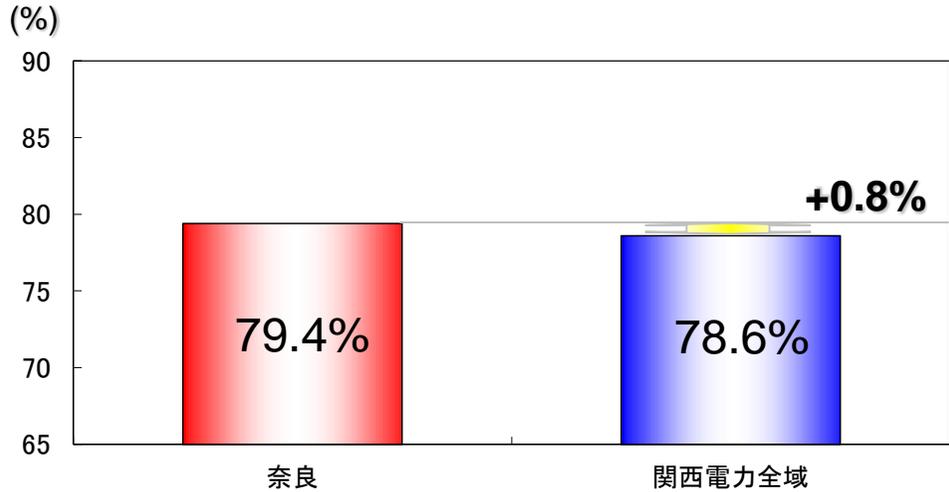
	H22.8.19	H26.7.25	増減値
奈良支店管内	35.2	36.4	+1.2

	H22.8.19	H26.7.25	増減値
関西電力全域	36.6	37.1	+0.5

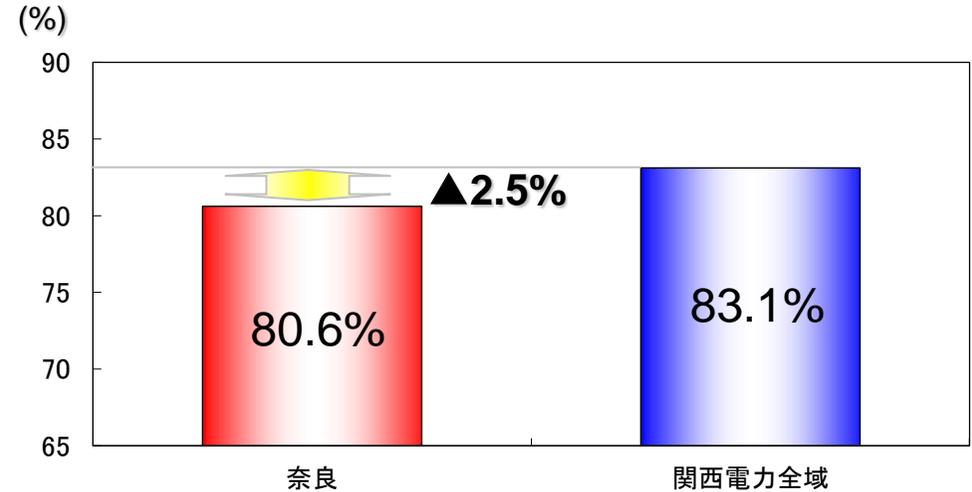
* 電力量、最大電力については、四捨五入のため、増減値が合わないことがあります。

奈良県の今夏の用途別電力量実績(合計値)及び業種別(家庭用・業務用・産業用)をH22年比で確認すると、家庭用は関西電力全域とほぼ同水準となり、業務用・産業用・合計値は関西電力全域を下回った。

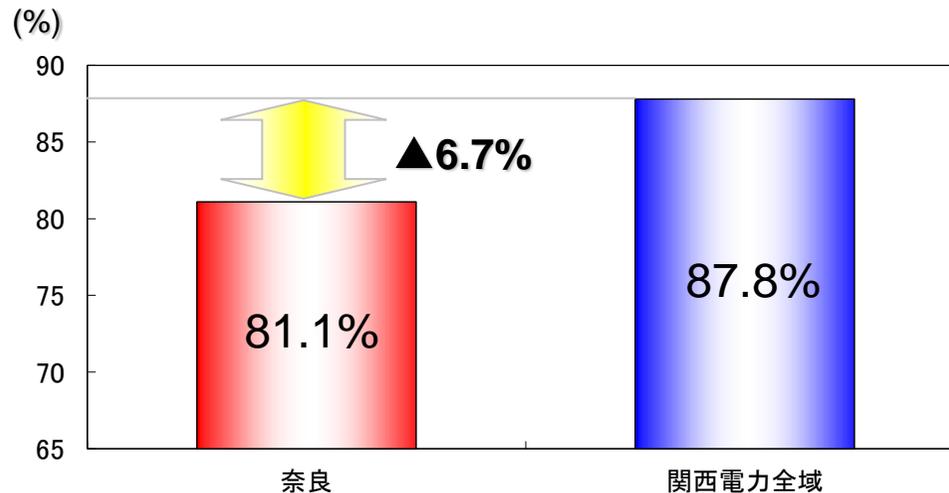
家庭用



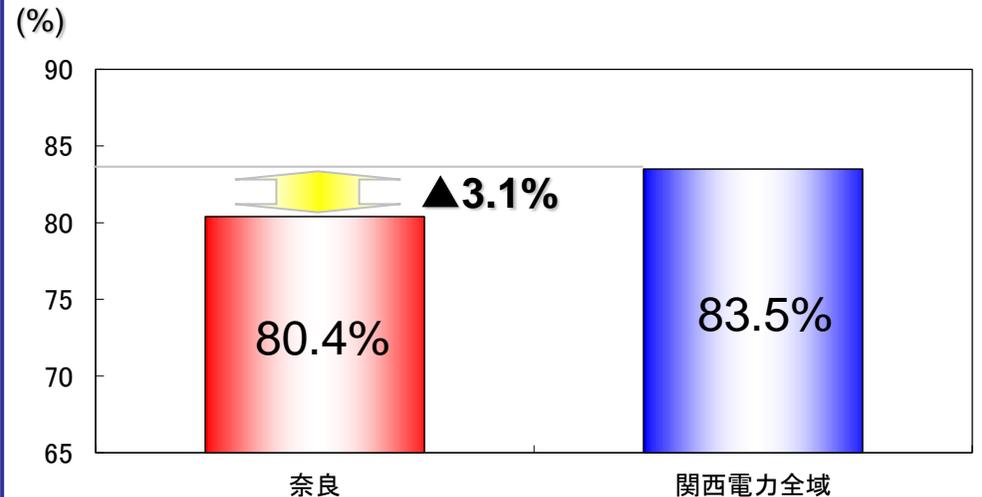
業務用



産業用

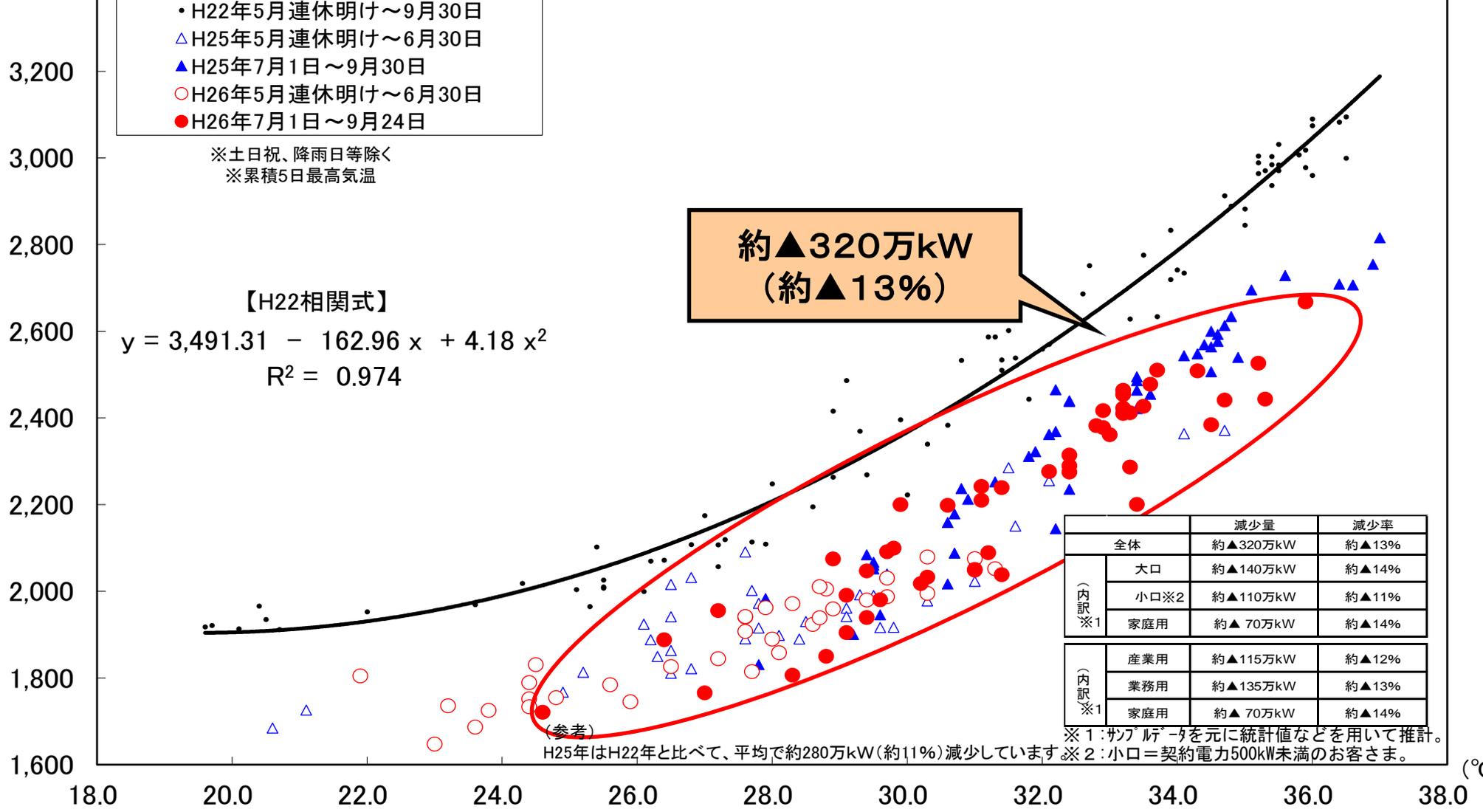


合計



14～15時の最大電力の比較〔対H22年比〕

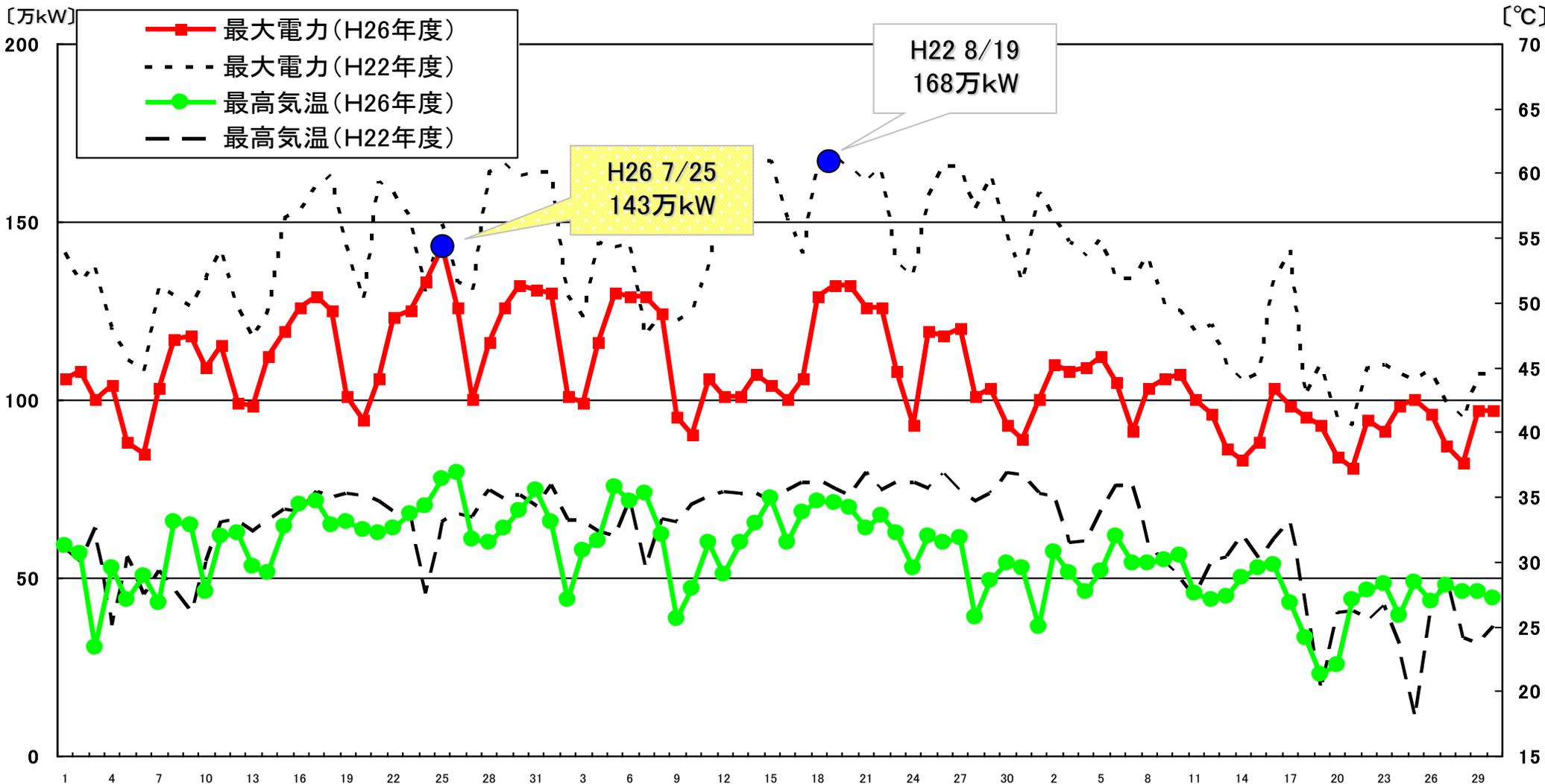
(万kW)
3,400



○7/1から9/24までの実績では、H22年と比べて、平均で約320万kW(約13%)の減少となりました。この中に節電効果が含まれているものと考えられます。なお、これは昨夏を上回る減少となります。

○家庭用で約14%、大口で約14%、小口で約11%、業務用で約13%、産業用で約12%減少となりました。

【奈良支店】平成26年度夏季最大電力の推移(7/1~9/30)

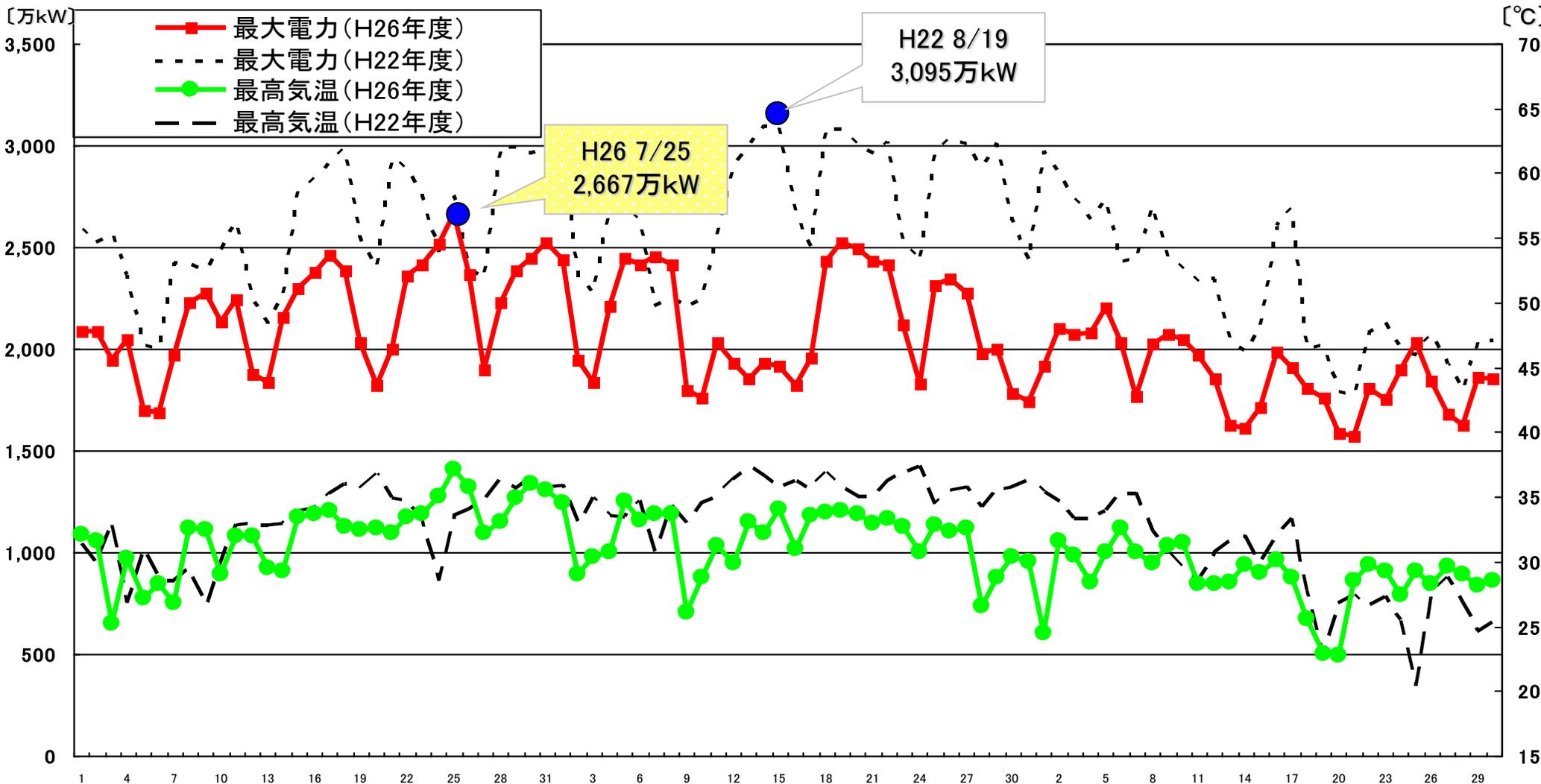


	最大電力(万kW)【日】	最高気温(°C)【日】	平均最高気温(°C)
H26	143【7/25】	36.8【7/26】	30.4
H22	168【8/19】	36.9【8/26,9/4】	32.0
差	▲25	▲0.1	▲1.6

・最大電力、最高気温、平均最高気温(最高気温の平均値)におけるH26年度・H22年度の値は、以下の期間のデータを抽出しております。

〔 OH26年度:7/1(火)~9/30(火)
OH22年度:7/5(月)~10/4(月) 〕

【関西電力全域】平成26年度夏季最大電力の推移(7/1~9/30)



H26 7/25
2,667万kW

H22 8/19
3,095万kW

	最大電力(万kW)【日】	最高気温(°C)【日】	平均最高気温(°C)
H26	2,667【7/25】	37.1【7/25】	30.9
H22	3,095【8/19】	37.4【8/29】	32.6
差	▲428	▲0.3	▲1.7

・最大電力、最高気温、平均最高気温(最高気温の平均値)におけるH26年度・H22年度の値は、以下の期間のデータを抽出しております。

〔 OH26年度:7/1(火)~9/30(火)
OH22年度:7/5(月)~10/4(月) 〕